

あんによう

安 養

～弘願院だより～
第十二号



弘願院寺報『安養』をご覧のみなさまへ

「暑さ寒さも彼岸まで」というお言葉が今年は納得できるそんな時節であります。ついこの間に綺麗な桜を見たかと思えば猛暑の夏が過ぎ、いつの間にか秋を迎え、また寒い雪の時期を迎えます。コロナ、世界の紛争、日本国内の様々な事象、心が定まらない我々にとって今年はまだ一段とあっという間に時が過ぎる、そんな実感はございませんでしょうか。

弘願院も皆さまのご理解ご協力を賜り、日に日に姿を変えております。昨年の庫裡側の工事が終了し、この9月からはついに本堂側の修繕に入ります。足場を組んだり、作業をしていたりと皆さまにはご不便おかけしますが、何卒ご理解賜りたく存じます。

弘願院の風景は変われども、浄土宗のみ教え、お念仏のみ教え、は今までもこれからも変わることはありません。仏さまのみ教えをこれからも大切にお取次ぎさせていただきます。

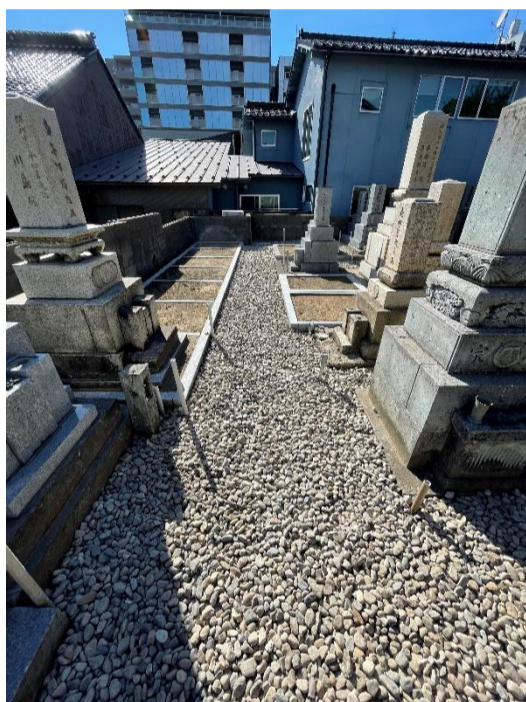
弘願院住職 森岡 達圭

弘願院の修繕の様子

弘願院墓地 雨水排水問題の解決

長年皆さまにご迷惑をおかけした墓地の雨水排水問題を解決いたしました。地面を掘り、暗渠(排水溝)を巡らし、雨水枡を各所に設置し、地面深くの位置で雨水を浸透させます。

今年も局地的な大雨が降りましたが、この工事のおかげで墓地が水没することはありませんでした。雨が降っても気兼ねなくお参りできるようになりました。



弘願院第Ⅱ期工事 本堂側の修繕がはじまる

令和4年度は弘願院の本堂側の修繕です。屋根の瓦を下ろし、下地を整え、側面や背面も板張りに変わります。

足場を組む関係で皆さま

には不便おかけしますが何卒

ご理解賜りますようお願い

申し上げます。詳細は下記を

ご覧ください。



2022年9月以降 弘願院駐車場について

上記期間中は弘願院本堂側の修繕工事のため階段を降りて本堂脇の通路が足場設置のため通行が困難な状態です。誠に申し訳ありませんが迂回していただき、弘願院山門よりお寺へお入りください。工事が完了した後に改めご連絡いたします。

お車の駐車位置は従来通り、

裏隣の「常松寺(金沢市野町1-3-8)」の駐車場です。

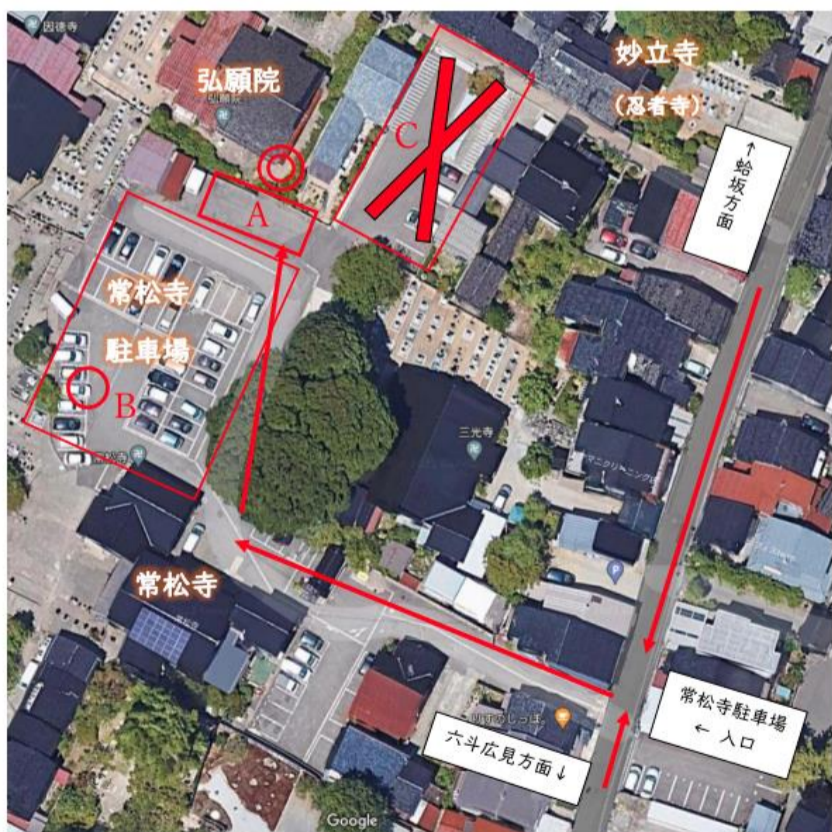
不明な点は弘願院 076-243-8024、もしくは

住職携帯電話 080-5340-5108へご連絡ください。

注意事項

- ・駐車位置はA箇所もしくはB箇所優先で駐車ください。
- ・C箇所の忍者寺駐車場は絶対に駐車しないでください。

上空より見た常松寺駐車場(駐車位置に要注意)



駐車位置について注意点(◎…第一優先/○…第二/×…駐車不可)

- ◎ A: 弘願院側黒フェンス・コンクリート壁付近
4~5台は駐車可能です。溝がありますので駐車の際は注意してください。
- B: 白線内の空いている場所
Aの場所が埋まっている場合はB箇所の空いている所に駐車してください。
【「弘願院関係者車両」を提示の上で駐車をお願いします。】
- × C: 妙立寺(忍者寺)駐車場
この場所は妙立寺(忍者寺)駐車場なので絶対に駐車しないでください。

●弘願院 数珠つなぎプロジェクトのご報告●

檀信徒や有縁の方から多くの食品や日用品が弘願院におそなえとして集まっております。

集まった食品や日用品はおさがりとしてお寺に届けてくださった多くの方の心とともに

おすそわけとして支援を必要としている方や団体・個人の方へお届けしています。

おそなえを通じて貧困問題・フードロスの問題を啓発し、もったいないという言葉を手紙だけでなく、実際にアクションを起こして支え合いに繋げるためにお寺として取り組んでいます。

令和4年4月～8月の数珠つなぎ

- #弘願院檀信徒 I 様
- #弘願院檀信徒 K 様
- #弘願院檀信徒 O 様
- #弘願院檀信徒 H 様
- #法船寺檀信徒 N 様
- #法船寺檀信徒 K 様
- #法船寺檀信徒 A 様
- #法船寺檀信徒 T 様



「おそなえ」を届けてくださった皆様

食品 (お米・インスタント・缶詰・調味料等) 82 点

お菓子 (和菓子・洋菓子・ジュース等) 74 点

日用品 (マスク・ティッシュ・タオル・洗剤等) 32 点

- #石川県内個人様 43 名
- #郵送受け取り 3 件

- #大蓮寺様 #成学寺様
- #海禅寺様 #寿経寺様
- #宝幢寺様



「おすそわけ」を受け取られた方

個人・団体様へ 24 件

お届けさせていただきました！

- #おおくわこども食堂様
- #平和こども食堂様
- #かないわみやのこし食堂様
- #おてらおやつクラブ様

- #金沢市役所生活支援課様
- #石川県内 個人様
- #サンかほく様 (かほく市)
- #柳橋子ども食堂様 (羽咋市)



新たな地域とのつながり 「ともいき てらつど」の実施

8月の後半に地域の子ども達を対象とした「ともいき てらつど」を実施しました。「てらつど」とは、「お寺に世代を超えた様々な人が集う」を略したものです。

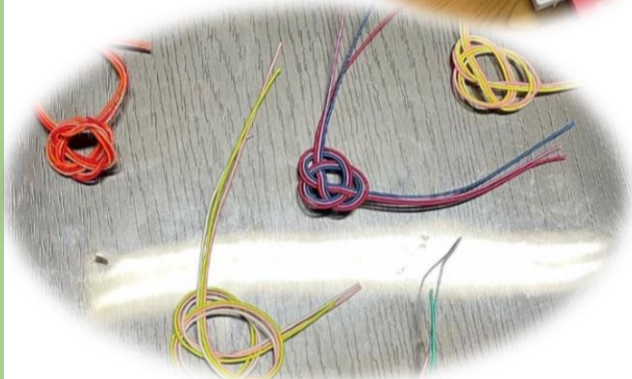
お寺子どもから大人までの集いの場であり、家・学校（職場）以外の第3の憩いの場を作ること、目的としています。活動を通じて、

- ① 参加者同士や世代間の交流を図り、敬上慈下の心（目上の人を敬い、目下の人をいたわる心）を育む。
- ② 地域の伝統や風習を相互に学び、次世代に伝統を継承していく。
- ③ 様々な「孤独」や「孤立」の解消に努め、お寺に関わる有縁の方々を数珠のように「繋げる」。

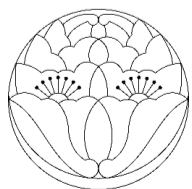
ということを目指しています。お寺で行う様々な活動を通じて浄土宗で大切にしている四項目をお伝えできればと思います。

- 一、患者の自覚を（自分自身をしっかりと見つめよう）
- 一、家庭にみ仏の光を（あたたかい家庭を築こう）
- 一、社会に慈しみを（優しさに満ちた社会を築こう）
- 一、世界に共生を（共に生きる平和な世界を築こう）

二日間の実施でしたが、参加した小学生は地域の方や金沢大学の学生さんと共に水引体験やお寺のフードドライブの活動を体験していただきました。お寺という非日常の空間で、有縁の方を「繋ぐ」取り組みを今後も企画・実施してまいります。



～心の距離が近い浄土宗のおてら～



ぐ がん いん
弘 願 院

〒921-8031 石川県金沢市野町 1-3-87

Tel : (076) 243-8024

mail : guganin.jodo@gmail.com



弘願院のHPや各SNSを
まとめたQRコードです。



弘願院は「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。
金沢市ともSDGsに取り組むにあたり、パートナーシップを結んでいます。

法然共生

発行年月日 2022年9月24日
発行者 安養山 弘願院
住職 森岡 達圭